

科目名 (Subject)	組織情報論 I Theory of Information and Organization I		
単位数 (Credits)	2 単位	開講時期	後 期
担当教員名 (Name)	阿部孝太郎 Kotaro ABE	研究室番号 (Office)	533
Office Hours	随時		
<p>1. 授業目的・方法 (Course objective and method)</p> <p>学部講義「組織情報論」のテーマ(次項参照)について、できるだけ掘り下げる。主な方法としては、指定した文献について、ディスカッションを行う。</p> <p>2. 授業内容 (Course contents)</p> <p>受講者の興味関心等に合わせて、下記の中からいくつかピックアップして行う予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コラボレーションの学際的研究 ・リードユーザー論 ・クラウドソーシング ・ナレッジ・マネジメント ・IT と組織構造 ・失敗学 <p>3. 使用教材 (Teaching materials)</p> <p>初歩的なもの(学部と共通)として、西垣通『集合知は何か』(中公新書)、ジェフ・ハウ『クラウド・ソーシング』(早川新書)、J. スロウィツキー『みんなの意見は案外正しい』(角川文庫)、山口周『世界で最もイノベーティブな組織の作り方』(光文社新書)、畑村洋太郎『失敗学のすすめ』(講談社文庫)。この中から選択。その他(M. Farrell, <i>Collaborative Circles</i>等)は適宜紹介。</p> <p>4. 成績評価の方法 (Grading)</p> <p>指定文献の論評における、独創性、理解度、論理性による。</p> <p>5. 成績評価の基準 (Grading Criteria)</p> <p>論評に質に関しては、過去の履修者も含めた相対評価が基準。</p> <p>6. 履修上の注意事項 (Remarks)</p> <p>学部講義「組織情報論」履修済でない場合、適宜話し合いの上、テーマを狭める等の工夫を行う場合がある。</p>			